



SANPO 2007  
<http://cambrian.jp>

IT(情報技術)は、いろいろなものを便利にしたり性能をよくしたりするだけのものではありません。これからは、私たちの街や暮らしのなかで、楽しさやきれいなものや気持ちのいいことをふやしていくために、ITを活かしていくことが大切です。

アーバンコンピューティングフォーラムでは、IT、都市、建築、アート、デザイン等の領域で横断的に活動しているひとびとを結びつけ、新しいアプローチによる知の結集を目指しています。このたび、パナソニックセンター東京を会場として、第3回目のシンポジウムを開催することになりました。

今回は、ネットワークを利用した創発的アートシステムの開発に携わってきたアーティストの安齋利洋と中村理恵子のおふたりをホストに迎え、楽しい年末イベントとして「カンブリアンパーティー」と題したシンポジウムを開催します。

# カンブリアンパーティー

2008年12月26日(金)14時00分~17時00分(開場13時30分)

会場: パナソニックセンター東京 ホール

主催: アーバンコンピューティングシンポジウム実行委員会

特別協賛: パナソニックセンター東京

対象: 一般(どなたでも参加できます)

参加無料

要予約 → <http://panasonic.co.jp/center/tokyo/event/all/>

## プログラム

13:30 (開場)

14:00~ 第一部「カンブリアンと散歩」

安齋利洋, 中村理恵子

パートナー: 小川克彦(慶應義塾大学)

安齋・中村の提唱するカンブリアンシステムを用いたネットワークで写真をプリコラージュ的につないでいく創作活動「SANPO」を題材に、実際の創作プロセスをたどりながら体験を共有します。

15:00~ 第二部「可能性の束としてのアート」

安齋利洋, 中村理恵子

ゲスト: 幸村真佐男(中京大学), 西野順二(電気通信大学)

創発において身体性やパターンやスキルが重要であることを、メディアアートや古武道を題材に、アートを生むシステムとの関係を踏まえながら語り合います。あわせて大学を創作現場とすることについて語り合います。

17:00 (終了予定)

ナビゲータ: 木原民雄(NTT)

シンポジウム終了後、パナソニックセンター東京の見学ができます。

簡単な懇親会を予定しています。

(時間、講演者は変更することがあります)

●小川克彦 慶應義塾大学環境情報学部教授。NTTサイバーソリューション研究所所長を経て現職。専門はメディア情報学。主な著書に「デジタルな生活—ITがデザインする空間と意識—」(NTT出版)。主な受賞に大川出版賞。工学博士。



●安齋利洋 システムアーティスト。1980年代より、セルオートマトンを応用したCG作品を発表し始める。MANDELNET1986、連画などのネットワークプロジェクト、Rambler1993などの数理解の作品、SuperTableau、カンブリアンマシンなどのソフトウェア、いずれも作動し続ける創発的システムの設計・実装に一貫して取り組んでいる。武蔵野美術大学、早稲田大学、東京大学大学院にて、ワークショップ作品としての講義を模索中。



●中村理恵子 アーティスト。東京大学大学院情報学環非常勤講師。武蔵野美術大学油絵学科卒業後、美術研究所や商用パソコン通信会社勤務。1992年コラボレーテッド・アート「連画」をはじめ、2002年、「連画」の進化系「カンブリアン・ゲーム」公開。100号の油絵キャンバスやパソコンと同居しながら創発的ネットワークを考える。ここ数年、SNSや古武道にも意欲を燃やす。



●幸村真佐男 中京大学情報理工学部情報メディア工学科教授。1960年代半ばにCTG(コンピュータ・テクニク・グループ)を結成。いち早く創造活動の道具としてのコンピュータに着目し、今日までメディアアート界を牽引してきた。「ハベルの図書館」など、多くの作品を発表し続けている。



●西野順二 天才プログラマー、電気通信大学システム工学科助教、同大学ジャグリングサークルPassage顧問。フジイ理論・システム科学研究者。フジイを応用したあいまいな言語表現とその処理をツールとして、サッカーロボットの知的制御や囲碁、似顔絵、人間行動など深層に構造の巨大さを持つシステムの扱いに関する研究や開発を行う。最近では人間に負担を強要する設計パラダイム「スキルロニクス」を提唱。



●木原民雄 日本電信電話株式会社NTTサイバーソリューション研究所主幹研究員。公共空間でのインタラクティブシステムの研究開発等を手がける。主なメディアアート作品に「Interium」「Lagrange Game」等。主な受賞にPrix Ars Electronica Interactive Art部門Honorary mention入選、情報処理学会山下記念研究賞。博士(情報理工学)。



## Panasonic Center TOKYO



パナソニックセンター東京  
東京都江東区有明2丁目5番18号 Tel.03-3599-2600  
開館時間:10:00~18:00 休館日:月曜日・年末年始  
りんかい線「国際展示場駅」徒歩2分 ゆりかもめ「有明駅」徒歩3分  
<http://panasonic.co.jp/center/tokyo/>